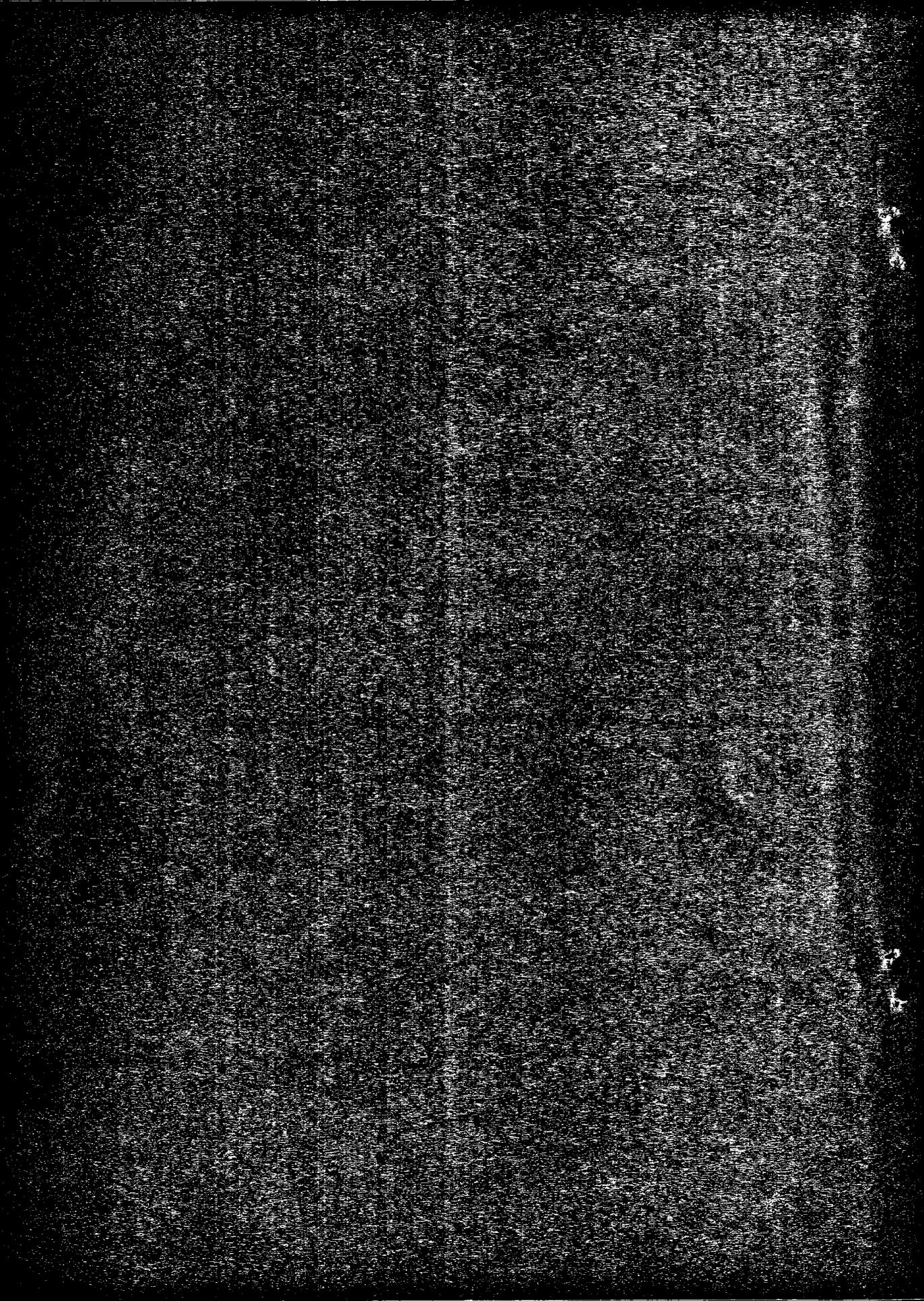


# 水道

1	沿革	261
2	事業概要	263
3	料金及び加入金	264
4	経営状況	265
5	職員数及び給与	266
6	施設	267



## 1 沿 革

水道の創立は遠く明治22年、市制の施行により上水道設置の要望が高まり、明治43年水源地調査費を予算に計上、調査の結果八景水谷を水源地とし、立田山を配水池とする旨の結論を得た。しかしその後水利関係にからむ地元民の猛反対等で候補地も再三変更を余儀なくされ、交渉は困難を極めたが、大正13年3月ようやく地元民との了解が成り、同年11月工費約228万円で竣工、通水をみたのである。その後配水管の布設等施設拡充が続けられたが、第2次大戦により資材は不足し建設改良も思うにまかせず、空襲による被害は施設の老朽とあいまって事業運営に重大な支障をきたし、加えて終戦後の復員や引揚者による人口増加は必然的に配水能力の不足を招き、時間給水制限等を行わざるを得ない状態となった。

これに対処するため水源地の確保を主とした第1次拡張工事が行われたが、まず第1期工事として、健軍に水源を求め、工費250万円で昭和25年8月健軍水源地が竣工、1日の配水能力も37,000 $\text{m}^3$ と大幅な増加を示した。

第2期工事として、昭和40年度における給水人口20万人、1日の最大配水量60,000 $\text{m}^3$ を目標とした5カ年計画を樹立、昭和25年8月に着工、一本木及び亀井の2カ所の水源地の新設、立田山配水池の増設等総工費約3億8,209万円を投じ昭和31年11月完工を見た。

引続き昭和46年度における給水人口35万人(当初計画34万5千人)、1日の配水能力103,000 $\text{m}^3$ (当初計画102,000 $\text{m}^3$ /日)を目標とした第2次拡張工事を計画、5カ年継続事業として昭和33年1月に着工、川尻、城山両水源地の新設徳王配水池の新設、立田山配水池の増設及び健軍水源地並びに八景水谷水系の取水井の増設等総工費7億9,800万円をもって昭和37年3月完工した。この事業により北部方面の高台地区並びに急激に発展した東部地区への円滑な給水が可能となった。また未給水地区であった川尻、高橋両地区もそれぞれ給水を開始した。しかしながら今日の急速な水需要は著しいものがあり、これに対処すべく生活環境の整備、産業の振興を柱とする人口60万都市の未来像に向って、本市マスタープランに沿い第3次拡張工事を計画(内容別記)13カ年継続事業(当初10カ年)として、昭和41年4月着工、現在鋭意工事を遂行中である。

### 第3次拡張工事計画

第3次拡張工事を行うことにより、本計画開始時における配水能力129,700m<sup>3</sup>より153,300m<sup>3</sup>上回る283,000m<sup>3</sup>の配水が可能となる。

認可年月日	昭和41年2月15日			
期 間	昭和41年4月1日～昭和55年3月31日			
目標年次	昭和55年度			
基本計画	計画給水人口	461,000人	1日最大配水量	283,000m <sup>3</sup>
	1人1日最大配水量	614ℓ	1人1日平均配水量	476ℓ

### 事業内容

(昭51.4.1現在)

給水区	工 種	工 費	摘 要
北 東 部	取水施設費	491,828	さく井8本を設置、岩倉山に11,250m <sup>3</sup> の配水池を築造し、清水町、楠田地、武蔵ヶ丘団地及び立田町方面に配水する
	送水施設費	249,765	
	配水施設費	969,701	
	計	1,711,294	
北 西 部	取水施設費	163,360	さく井4本を設置し、徳王配水池に、6,000m <sup>3</sup> の配水池を増設し、出町、京町、花園、島崎方面の高台地区一帯の配水の円滑化を図る
	送水施設費	340,666	
	配水施設費	764,528	
	計	1,268,554	
中 部	取水施設費	743,144	さく井8本を設置し、万日山に5,000m <sup>3</sup> (西部と兼用)の配水池及び田迎に7,000m <sup>3</sup> (南部と兼用)の配水池を築造し、既設立山配水池と併せて、旧市街地区の水圧低下を防止し、配水の円滑化を図る
	浄水施設費	106,719	
	送水施設費	648,670	
	配水施設費	2,120,271	
計	3,618,804		
東 部	取水施設費	531,900	さく井8本を設置し、健軍水源地に2,400m <sup>3</sup> 及び沼山津配水ポンプ場に17,500m <sup>3</sup> の配水池を築造し、ポンプ圧送にて、本荘、大江、健軍方面へ配水する
	送水施設費	222,054	
	配水施設費	4,837,043	
	計	5,590,997	
西 部	取水施設費	412,621	さく井3本を設置し、城山に2,000m <sup>3</sup> の配水池(新設)及び万日山に5,000m <sup>3</sup> (中部と兼用)の配水池により、中島、小島、松尾、八島団地方面の配水の円滑化を図る
	浄水施設費	38,091	
	送水施設費	66,548	
	配水施設費	508,827	
計	1,026,087		
南 部	取水施設費	244,624	さく井3本を設置し、川尻水源地に800m <sup>3</sup> の配水池を築造し、田迎配水池7,000m <sup>3</sup> (中部と兼用)とにより川尻町方面の配水の円滑化を図る
	浄水施設費	52,268	
	配水施設費	633,927	
	計	930,819	
託 麻	取水施設費	259,512	さく井3本を設置し、小山山に3,500m <sup>3</sup> の配水池を築造し、旧託麻村の配水の円滑化を図る
	送水施設費	287,283	
	配水施設費	1,137,947	
	計	1,684,742	
一般附帯工事費		1,167	
測量設計委託料		74,761	
事務費		1,153,581	
合 計		17,060,806	(内起債額16,067,400千円)

## 2 事業概要

### (1) 給水普及状況

区分 年度	行政区域内(A)				給水区域内(B)				現在給水(C)	
	人口	戸数	普及率(C/A)		人口	戸数	普及率(C/B)		人口	戸数
			人口	戸数			人口	戸数		
46	447,200	132,955	84.0%	81.3%	427,982	128,430	87.8%	84.2%	375,602	108,076
47	452,558	136,139	82.3	83.6	441,576	131,505	85.1	86.5	380,252	113,810
48	468,431	139,928	83.7	86.7	461,348	138,150	85.0	87.9	392,131	121,364
49	477,450	144,372	84.3	88.9	470,367	142,594	85.6	90.3	402,550	128,344
50	489,561	153,028	86.2	88.5	489,030	152,916	86.3	88.6	422,081	135,446

### (2) 配水量

区分 年度	総配水量	1日最大配水量	1日最小配水量	1日平均配水量	1人1日最大配水量	1人1日平均配水量	最大月の1日平均配水量
46	48,053,261 <sup>m³</sup>	8/2 166,040 <sup>m³</sup>	1/1 100,974 <sup>m³</sup>	131,293 <sup>m³</sup>	446 <sup>ℓ</sup>	352 <sup>ℓ</sup>	148,049 <sup>m³</sup>
47	52,595,777	8/7 180,935	1/1 103,617	144,098	489	389	165,246
48	57,259,761	7/16 199,600	1/1 114,591	156,876	515	404	187,926
49	58,909,416	8/19 200,153	1/1 119,597	161,396	500	403	187,134
50	65,318,528	8/4 221,702	1/1 130,946	178,466	543	433	203,398

### (3) 有収水量と無効水量

区分 年度	総有収水量	1日平均有収水量	有収率	無収水量	無収率	総有効水量	1日平均有効水量	有効率	無効水量	無効率
46	36,286,477 <sup>m³</sup>	99,143 <sup>m³</sup>	75.5%	155,137 <sup>m³</sup>	0.32%	36,441,614 <sup>m³</sup>	99,567 <sup>m³</sup>	75.8%	11,611,647 <sup>m³</sup>	24.2%
47	39,724,677	108,835	75.5	379,828	0.72	40,104,505	109,875	76.3	12,491,272	23.8
48	42,634,025	116,806	74.5	468,425	0.82	43,102,450	118,089	75.3	14,157,311	24.7
49	44,499,309	121,916	75.7	467,112	0.79	44,966,421	123,196	76.5	13,820,901	23.5
50	49,014,005	133,918	75.8	489,590	0.76	49,503,595	135,256	76.5	15,182,947	23.5

### (4) 水道管延長

区分 年度	導水管延長	送水管延長	配水管延長
46	5,835 <sup>m</sup>	15,596 <sup>m</sup>	846,588 <sup>m</sup>
47	6,064	17,204	901,871
48	7,265	17,204	994,065
49	7,848	18,929	1,069,180
50	8,054	20,065	1,110,012

### (5) 口径・用途別給水量及び収入状況

(昭和50年度)

口径 用途別	区分	給水量	構成比	収入	構成比
一般 用	13 <sup>mm</sup>	28,400,874 <sup>m³</sup>	57.94%	1,188,553,576 <sup>円</sup>	54.56%
	20	2,783,025	5.68	118,777,292	5.45
	25	4,357,690	8.90	195,530,464	8.98
	40	3,172,371	6.47	161,777,573	7.43
	50	3,431,358	7.00	171,758,508	7.88
	75	3,624,419	7.40	181,192,910	8.32
	100	1,745,602	3.56	88,899,800	4.08
	150	992,106	2.02	48,283,123	2.22
	湯屋用		206,901	0.42	3,415,895
共用		154,145	0.31	4,672,487	0.21
一時用		145,514	0.30	15,415,698	0.71
計		49,014,005	100	2,178,277,326	100

水道

## (6) 簡易水道

(昭5 1.4.1 現在)

地区	通水開始年月日	水源の種類	配水設備	給水方式	給水戸数	給水人口
平	昭3 1.8.18	谷間湧水	容量30 <sup>m</sup> 1池 ろ過池 2池 口径75mm	自然流下式	44	198

## 3 料金及び加入金

- (1) 水道料金 昭和50年 9月20日改定  
昭和51年 1月 1日実施

口径 ・用途別	区分	基本料金 (1月につき)	従量料金			
			第一段	第二段	第三段	第四段
一般 用	13mm	8 <sup>m</sup> 以下 360円	9 <sup>m</sup> 以上 20 <sup>m</sup> 以下 1 <sup>m</sup> につき58円	21 <sup>m</sup> 以上 30 <sup>m</sup> 以下 1 <sup>m</sup> につき65円	31 <sup>m</sup> 以上 40 <sup>m</sup> 以下 1 <sup>m</sup> につき73円	41 <sup>m</sup> 以上 1 <sup>m</sup> につき83円
	20mmから 25mmまで	380円	9 <sup>m</sup> 以上 20 <sup>m</sup> 以下 1 <sup>m</sup> につき60円	21 <sup>m</sup> 以上 30 <sup>m</sup> 以下 1 <sup>m</sup> につき68円	31 <sup>m</sup> 以上 40 <sup>m</sup> 以下 1 <sup>m</sup> につき77円	41 <sup>m</sup> 以上 1 <sup>m</sup> につき88円
	40mm	1,400円	20 <sup>m</sup> 以下 1 <sup>m</sup> につき68円	21 <sup>m</sup> 以上 50 <sup>m</sup> 以下 1 <sup>m</sup> につき78円	51 <sup>m</sup> 以上 100 <sup>m</sup> 以下 1 <sup>m</sup> につき89円	101 <sup>m</sup> 以上 1 <sup>m</sup> につき 101円
	50mm	2,100円				
	75mm	4,200円				
	100mm	7,000円				
	150mm	14,000円				
浴場営業用	150 <sup>m</sup> 以下2,600円	151 <sup>m</sup> 以上 1 <sup>m</sup> につき		20円		
共用給水装置	1戸につき6 <sup>m</sup> 以下 (基本水量)150円	基本水量をこえる水量1 <sup>m</sup> につき			30円	
一時用	1 <sup>m</sup> につき 200円					
私設消火せん	口径50mm未満20分以内1個1回につき			300円		
	口径50mm以上20分以内1個1回につき			600円		
連合専用給水装置	1戸につき一般用の料金を適用する					
簡易水道	次の範囲内で管理者が別に定める			平地区 総月額	12,000円	

- (2) 加入金 昭和50年9月20日改定  
昭和51年1月 1日実施

メーター口径	加入金(基準額)
13mm	30,000円
20	60,000
25	90,000
40	300,000
50	540,000
75	1,050,000
100	2,100,000
150	3,000,000

(注) 増径工事の場合は現在の口径と新口径の差額とする

## (3) 料金収納状況

(昭5 1.3.3 1現在)

区分	人員	交 付 額		収 納 額		収 納 率		1人1ヵ月当り交付額	
		件 数	金 額	件 数	金 額	件数	金額	件数	金額
委託集金	58	1,225,149	1,427,794,111 <sup>円</sup>	1,097,631	1,232,263,929 <sup>円</sup>	89.60%	86.31%	1,760	2,051,428 <sup>円</sup>
整理集金	3	3,074	5,387,385	2,678	4,692,280	87.12	87.10	113	199,532
計	61	1,228,223	1,433,181,492	1,100,309	1,236,956,209	89.59	86.31	1,677	1,957,898

(注) 昭和42年4月1日委託業務開始

委託先 熊本市練兵町10番1号 株式会社肥後集金センター

委託件数 月平均 102,095件 委託率 100%

委託手数料 徴収1件につき61円 (昭5 1.4.1改訂)

## 4 経営状況

## (1) 収益的収支の推移

(単位 円)

事項	年度	46	47	48	49	50
総 収 益		1,238,495,894	1,331,204,288	1,817,052,124	1,951,594,482	2,253,343,523
料 金 収 入		1,170,732,113	1,271,750,598	1,755,717,157	1,880,055,212	2,178,277,326
そ の 他 収 入		67,763,781	59,453,690	61,334,967	71,539,270	75,066,197
総 費 用		1,257,459,968	1,452,688,938	1,734,741,130	2,445,417,766	2,858,344,069
職 員 給 与 費		673,731,608	753,338,839	861,787,439	1,157,724,484	1,296,464,998
電 力 費		106,452,088	122,251,617	139,094,698	238,367,628	276,747,791
物 件 費		34,727,714	33,353,886	39,847,312	54,875,014	52,513,557
減 価 償 却 費		153,969,820	177,912,377	211,100,487	255,667,713	309,675,764
支 払 利 息		137,932,400	172,787,452	249,797,810	434,703,660	578,796,206
そ の 他		150,646,338	193,044,767	233,113,384	304,079,267	344,145,753
単年度損益		△ 18,964,074	△ 121,484,650	82,310,994	△ 493,823,284	△ 605,000,546

## (2) 資本的収支の推移

(単位 円)

事項	年度	46	47	48	49	50
資 本 的 収 入		502,805,726	652,647,784	1,929,586,247	1,672,656,749	1,435,514,645
企 業 債		492,000,000	604,000,000	1,810,000,000	1,491,000,000	1,271,400,000
そ の 他 収 入		10,805,726	48,647,784	119,586,247	181,656,749	164,114,645
資 本 的 支 出		799,670,671	990,194,397	2,417,021,536	2,172,312,915	1,608,410,009
建 設 改 良 費		726,442,557	902,176,528	2,333,153,780	2,083,526,244	1,499,409,022
企 業 債 償 還 金		73,228,114	88,017,869	83,867,756	88,786,671	109,000,987
資 本 的 収 支 不 足 額		296,864,945	337,546,613	487,435,289	499,656,166	172,895,364

## (3) 供給単価及び給水原価

(単位円/㎡)

事項 \ 年度	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
供給単価	32.29	31.92	32.16	32.14	32.27	32.26	32.02	41.18	42.25	44.44
給水原価	25.30	26.45	27.97	28.82	31.58	33.46	35.94	40.07	54.16	57.54
損益	6.99	5.47	4.19	3.32	0.69	△1.20	△3.92	1.11	△11.91	△13.10

## 5 職員数及び給与

## (1) 職種別職員数

(昭51.4.1現在)

性別 \ 職種別	特別職	事務職	技術職	検針	その他	計
男	1	94	205	26	4	330
女	—	22	2	—	—	24
計	1	116	207	26	4	354

## (2) 職種別1人月平均給与額等

(昭51.4月分)

事項 \ 職種別	特別職	事務職	技術職	検針	その他	計
基本給(円)	330,000	200,708	179,478	172,135	219,125	186,363
特殊勤務手当(円)	—	4,232	6,496	6,991	5,500	5,761
超過勤務手当(円)	—	3,837	15,277	4,512	14,969	10,691
その他の手当(円)	—	4,689	5,264	5,241	4,413	5,049
合計(円)	330,000	213,466	206,515	188,879	204,007	207,924
年齢(才)	54	44	41	41	53	42
勤続年数(年)	0.6	19.3	16.2	14.1	20.2	17.0

(注) 合計欄は特別職を除く

## 6 施 設

### (1) 水道施設

名 称		竣工年次	施設能力	施 設 内 容		
水 源 地	八景水谷	大14.3	30,000 m <sup>3</sup> /日	浅井2本	深井2本	ポンプ8台
	健一木	昭28.3	85,000		14	16
	亀川	27.11	18,000	1	3	6
	城山	30.3	11,000	1	3	6
	沼尻	36.3	9,000		2	6
	麻生津	36.12	11,000		4	6
	託山	43.7	35,000		6	9
	山生	44.1	27,000		6	9
	山麻	45.11移管	3,800		3	7
	池室	50.3	4,000		1	3
	上	51.3	6,000		2	5
配 水 池	立徳	大14.3	22,500 m <sup>3</sup>	鉄筋コンクリート造り 5池		
	城山	昭35.3	7,500	3		
	託山	38.3	2,630	2		
	岩倉	45.11移管	500	2		
	川尻	47.3	7,500	2		
	健軍	47.3	1,440	3		
	万日	49.4	24,000	2		
	山	51.3	5,000	2		
加 圧 ポ ン プ 所	花岡山	35.8	30 m <sup>3</sup> /時	ポ ン プ 2台		
	大窪	36.10	9.6	2		
	島崎	38.6	7.2	2		
	長迫	39.9	5.4	2		
	立田山	40.3	1,500	2		
	岩倉山	40.3	1.1	2		
	高平	40.8	9.6	2		
	万日	41.9	8.4	1		
	上尾	43.6	12.6	2		
	谷尾	44.3	13.2	2		
	つじヶ丘	44.10	2.1	1		
	本妙寺	47.12	7.5	2		
	平山	48.8移管	6.6	1		
	託麻	49.	33.6	2		
本妙寺第2	49.	25.2	2			
水質検査室	49.5	水質分析器機一式				
水道記念館	49.6	展 示 物 200余点				

(注) 施設能力欄中 水源地……取水最大能力 配水池……容量 加圧ポンプ所……揚水量を示す

### (2) 局 舎

所在地	熊本市水前寺6丁目2番45号	構 造	鉄筋コンクリート、地下1階、 地上3階、塔屋1階
敷地面積	9,344 m <sup>2</sup>	施 工	龍建設株式会社
建物面積	延3,480 m <sup>2</sup>	総 工 費	190,621千円
着 工	昭和37年12月28日		
竣 工	昭和38年12月20日		

水道

